

---

資 料

---

## 世界と日本のムスリム人口 2011年

店 田 廣 文<sup>a</sup>

### Muslim Population in the World and Japan, 2011

Hirofumi Tanada<sup>a</sup>

(<sup>a</sup>Faculty of Human Sciences, Waseda University)

(Received : August 29, 2012 ; Accepted : January 13, 2013)

#### Abstract

In the 21<sup>st</sup> century, the Islamic societies have played important roles in the political, economic and cultural fields in the World. In this paper, we will show the present status of Muslim population in the World and Japan (as of 2011), making use of the population estimates and materials in recent years. The author published the estimated Muslim population dated 2000 before, so the estimated Muslim population described hereafter will be the revised estimate, demonstrating the current situation of Islamic societies in 2011. Muslim population in Japan has been estimated at about 110 thousands according to analysis of the “Register of Foreign Residents in Japan” and other materials.

**Key Words** : Muslim, Population, World, Japan

#### 序

21世紀に入って以降、政治・経済・文化等の多様な領域において、イスラーム社会の重要性はますます大きくなってきた。本稿では、その源のひとつであるムスリム（イスラーム教徒）人口について、最近の人口統計や資料を利用して推計し、イスラーム社会の現状に関する基礎的データを提示することを目的とする。

世界のムスリム人口については、巷間では2025年のムスリム人口が「世界人口の30%」（あるいは3分の1）という推計がよく引用されることがある。その出典となる代表的な文献は、サミュエル・

ハンチントンの『文明の衝突』（鈴木主税訳、1998年、集英社）である。ハンチントンは、フランス人研究者の論文（1987年刊行）を参照し、2000年のムスリム人口推計が23.3%であることをベースとして、2025年のムスリム人口比率を30.6%と推計したことが文中の記述からは明らかである<sup>1</sup>。実際のところ、現在のムスリム人口の絶対数と世界人口に占める比率はどの程度なのであろうか。正確な数字は誰にもわからないとも言えるが、これまでの様々な推計や研究および人口センサスなどを利用して、実態に近い数字を把握することは出来るであろう。筆者は、2000年と2006年の世界人口推計を利用して、それぞれ当時の世界のムスリム人口推計を行ったことがあ

---

<sup>a</sup> 早稲田大学人間科学学術院 (Faculty of Human Sciences, Waseda University)

り<sup>ii</sup>、今回の推計はその改訂版である。

なお、日本のムスリム人口についても推計をおこなう。外国籍のムスリム人口については、6万人から10万人<sup>iii</sup>、日本人ムスリムを含めると15万人という幅のある推計がこれまで発表されてきた<sup>iv</sup>。ここでは、『在留外国人統計』(財団法人・入管協会)による2010年末現在のデータを利用して、改めて日本における外国人ムスリムおよび日本人ムスリムについて合わせて推計した。

### 1. 世界のムスリム人口

世界の宗教人口推計によれば、1900年のムスリム人口は1億9994万人(世界人口の12.3%)であったが、1950年には3億1570万人(13.6%)とわずかながら比率は上昇した<sup>v</sup>。そして筆者による前出の推計によると、2000年のムスリム人口は12億7603万人(21.1%)、2007年は14億4956万人(21.7%)にまで大きく増加していた。その後のムスリム人口の変化を推計すると、表1に示したように、2011年現在の世界のムスリム人口は、15億4897万人と世界人口の22.2%となり、その規模、割合とも21世紀に入ってから着実に増加している。

各国の宗教人口については、国勢調査等によって把握できる国々は限られており、カナダや最近ではイギリスの例があるものの少数にとどまっている。また、イスラーム礼拝施設(モスクあるいはマスジド)が信者数を把握するようなシステムも存在しないため、ムスリム人口については、民族構成、モスク等の数、外国人人口統計など種々の間接的なデータによって、各国のムスリム人口把握が行われてき

た。

本稿では、世界のムスリム人口を把握するために、後出の表2(文末掲載)に注記した4つの資料によりながら、まず各国人口に占めるムスリム人口比率を確定したうえで、国連による人口推計を利用して、2011年時点のムスリム人口総数を算出するという2000年時点の推計と同様の手続きを取ることにした。ただし、世界の200カ国以上の国・地域にムスリム人口は存在するといわれているが、ムスリム人口比率が明示されていない場合は、各国の人口推計資料などにあたって、出来る限り多くの国・地域について人口比率を網羅するように努めた。表2に掲示した国・地域以外のムスリム人口は、本稿での推計に含まれないこととなっているが、それらの国・地域の人口量はきわめて少量であり、全体の人口動向は表2にほぼ示されているとおりで<sup>vi</sup>である。

2011年の世界の地域別ムスリム人口の分布割合を示した表1を見ると、2000年当時の推計人口と大きな変化はないと見なすことができる。アジア、アフリカ、オセアニア、アメリカ、ヨーロッパの5地域でみると、アジアが全体の68%、アフリカが29%を占めており、その他の3地域を合わせても、3%強であり、2000年と比べると、アフリカの比率が僅かながら上昇しているが、大勢に変化はない。後掲の表2には、地域別に各国のムスリム人口規模と比率を示しているが、アジア、アフリカの各地域や国別の比率や特徴についても、2000年時点の推計に見られるものと大きな違いは無いことから、ここで改めて述べることはしない。詳しくは拙稿を参照していただきたい<sup>vii</sup>。

表1. 世界のムスリム人口/地域別、2011年

地域	地域人口(千人)	ムスリム人口(千人)	地域内ムスリム人口比率	対全ムスリム人口比
アフリカ	1,046,000	445,502	42.6%	28.8%
アジア	4,207,000	1,050,548	25.0%	67.8%
ヨーロッパ	739,000	44,766	6.1%	2.9%
ラテン・アメリカとカリブ海	597,000	5,696	1.0%	0.4%
北アメリカ	348,000	1,973	0.6%	0.1%
オセアニア	37,000	483	1.3%	0.0%
合計	6,974,000	1,548,969	22.2%	100.0%

資料：地域人口/U.N., *World Urbanization Prospects. The 2010 Revision*, 2011.(web ver.)  
ムスリム人口/ 表2の国別ムスリム人口を合計。

ただし、2011年の推計においてもムスリム人口の多くが、アジア、アフリカの発展途上地域に在住しているものの、近年における欧米の先進諸国におけるムスリム人口の増加は改めて注目すべき点であり、世界全体からみると小さな変化ではあるが、ヨーロッパのムスリム人口比率の顕著な変化が観察される。2000年と2011年を比べると、ヨーロッパのムスリム人口が世界に占める割合は、2.4%から2.9%へと大きく上昇しているのである。ムスリム人口への注目は、「テロリズム」や「暴動」との関連で取りざたされることが多いが、多文化主義や社会統合という将来の世界各地の社会システムのあり方を構想する上で考慮しなければならない事柄であることから、重視すべき点であると言える。

## 2. 先進諸国のムスリム人口

西欧諸国においては、ムスリム人口の増加は第2次大戦後からの移民流入による影響がおおきく、各国は戦後復興期やその後の経済成長期に外国人労働者の受け入れを積極的に推進してきた。送出国は、宗主国としての西欧諸国と関係が深かった旧植民地の国々であり、北アフリカ、東西アフリカ、南アジアなどから多くの移民が流れ込んだのが、1960年代頃までであった。ヨーロッパ諸国の移民奨励政策は、1970年代の景気後退によって移民流入制限へと転換したものの、すでに定住していた移民の家族再結合や国際情勢の変動にともなう難民受け入れなどもあって、急激に移民の数が減少することはなかった。こうして、戦後の移民流入によるムスリム人口の増加から、経済不況による移民流入規制後の1970年代以降の家族再結合に伴ったムスリム移民の定住化による増加が現出したのである。当初の移民は、いわゆる出稼ぎ労働移民が主であったが、20世紀末頃からは難民も増加して、西欧諸国のムスリム人口の増加が続いてきた。また増加の一部には、改宗によるものも含まれている。表1のデータを2000年時点のものと比較してみると、特にヨーロッパの変化が著しく、地域内のムスリム人口比率は、4.3%から、6.1%へと大きく上昇しているのである。

後出の表2にあるように、ヨーロッパのOECD諸国のほとんどではムスリム人口が全人口の1%以上となっており、絶対数もフランス270万人、ドイツ350万人、イギリス175万人、スペイン・イタリア

は各々120万人、オランダも100万人と膨大なムスリム人口を抱えている。その他のOECD諸国も数十万人程度の人口を抱えており、合計すると1400万人程度のムスリム人口となる。一方、北米のアメリカ、カナダは合わせて570万人、人口に占める比率は各々2%程度である。オセアニアのオーストラリア、ニュージーランドも人口の1%を超えており、合わせて40万人程度のムスリム人口を擁している。これらOECD諸国を合わせると、ムスリム人口は、2000万人程度となっている。

## 3. 日本のムスリム人口

以上のOECD諸国に対して、日本の現状を見ると大きな差異があることが明白である。ブリタニカの2011年版には日本のムスリム人口比率の記載があり、表2では同書記載の0.1%という数値を利用した。これを適用すると日本のムスリム人口は約13万人となるが、本稿では独自に在留外国人統計を利用して推計を試みた。

方法としては、同統計の外国人登録数を利用し、それぞれの国籍の登録数に各国別のムスリム人口比率を掛け合わせた人口をまず算出した。更に在留資格の「日本人の配偶者等(日本人の配偶者または子)」の登録数が示されている場合には、成人であれば日本人の配偶者を有するムスリムと見なして、同様のムスリム人口比率を利用して、配偶者としてのムスリム人口(日本人ムスリム)を算出した。なお、成人の割合については、アジア地域出身の登録外国人人口の年齢構造を参照して、20歳以上の割合88.9%を使用して算出した。この他に、「不法残留者」として国籍が公表されているインドネシア、マレーシア国籍のもの等については、同様にムスリム人口比率を利用して推計した。以上の推計方法から、外国人ムスリム、91,744人、配偶者(日本人)、8,939人、「不法残留者」2,362人、そしてその他の日本人ムスリムについては、先行研究では800人程度とするものや<sup>Ⅷ</sup>、7万人というものもあるが<sup>Ⅸ</sup>、日本各地のモスクを訪問した折に遭遇してきた日本人ムスリムの数と外国人ムスリムの数とを対比した比率を想定して算出してみた。これまでのフィールド調査では、モスク等に集まっている外国人ムスリムの10%にあたるような数の日本人ムスリムを見かけることはなかったことから、多くても5%までであろうと

考え、上記の外国人ムスリムの約5%、4,500人を「その他の日本人ムスリム」として計上する案を考えた。しかし、この中には「配偶者」として既に算出した日本人、とりわけ女性の日本人ムスリムをダブルカウントすることが考えられるため、5%の半分として、2250人を「その他の日本人ムスリム」とした。それらすべてを合計して、滞日ムスリム人口は、105,565人となった。以上の結果から、11万人程度を現在の日本におけるムスリム人口として推計した(文末掲載の表3、参照)。このような推計結果を受けて、現在の日本におけるムスリム人口を概算的にとらえる場合、われわれは「外国人ムスリムが約10万人、日本人ムスリムが約1万人、あわせて約11万人」を日本のムスリム人口総数として考えている。

#### 4. ムスリム人口の将来推計

現在、およそ15.5億人のムスリム人口が、将来的にはどのくらいの規模になるであろうか。よく引用される将来推計が、序で取り上げたハンチントンの数字、2025年世界人口の30%である。これについては、2002年の拙稿において既に検討し、平均寿命や出生率の水準に着目することを前提として、2025年のムスリム人口について、国連の各国推計人口(2025年)をベースとして推計した。第1にそれぞれの国別に国連の中位推計による人口増加を適用した場合、第2に、2000年時点でムスリム人口比率が90%以上の国のムスリム人口増加指数(2000年=100として、2025年=163)をすべての該当国に適用した場合、第3に、ムスリム人口増加指数がもっとも高くなると推計されている中部アフリカ(2000年=100として、2025年=189)の数字をすべての該当国に適用するという、3つの方法を実施してみた。その結果を順に提示すると、2025年のムスリム推計人口が、19億5千万人(世界人口の25%)、20億8千万人(26%)、24億1千万人(30%)というものであった<sup>x</sup>。第3の推計方法を適用すれば、2025年に世界人口の30%がムスリム人口であるという結果が得られたが、これはかなりの高位推計に相当するもので

あり、適切な推計とは言えない。筆者が妥当と考える推計は、第1あるいは第2の推計によるものであり、したがって2025年には世界人口の25~26%程度がムスリム人口となるというところではないだろうか。

いずれにしても、このようなムスリム人口の世界的な増加が実際にあるのか否かは、2025年になるまで誰にもわからないが、これまでのイスラーム社会の人口増加動向を考慮すれば、世界におけるムスリム人口の絶対数の着実な増加と、世界人口に占める割合の上昇は、継続することが考えられる。

#### 結びにかえて

以上に確認してきたように、世界のムスリム人口は、絶対数および世界人口に占める割合が継続して上昇しており、今後ともその動向を注視する必要がある。また、先進諸国のムスリム人口の変動にも引き続き注目しておかねばならない。日本のムスリム人口は、欧米の先進諸国に比べると、人口数や国内人口に占める割合も低いのが現状であるが、われわれの従前の調査研究から見ても、着実に国内に「ムスリム・コミュニティ」が根付きつつあるのが現実である。他方で、例えば、土葬を原則とするムスリム墓地の建設をめぐる、日本の地域社会との間に軋轢が生じていることも報告されている<sup>xi</sup>。政府や地方自治体が模索している「多文化共生」施策を考える上で、ムスリム人口の動向を視野に入れていくことが望まれる。

世界のムスリム人口の将来については、筆者は着実な増加が見込まれると考えており、2025年には世界人口の約4分の1がムスリム人口となろう。アメリカの研究所Pew Research Centerは、2030年のムスリム推計人口を21億9千万人としており、これは国連による世界人口推計(2030年中位推計人口、83億21百万人)をベースにすれば、約26%を占めることとなり、筆者の推計と同じ水準である<sup>xii</sup>。このようにムスリム人口の比重が、大きくなることはほぼ間違いなく、世界におけるイスラーム社会の重要性は将来にわたって益々高まるものと予想される。



表2. 世界のムスリム人口 / 地域別・各国別、2011年

国名	地域	人口(千人)	ムスリム比率(%)	ムスリム人口(千人)
ソマリア	東アフリカ	9,557	99.0	9,461
コモロ		754	98.4	742
ジブチ		906	94.1	853
マイヨット		211	96.5	204
エリトリア		5,415	50.0	2,708
タンザニア		46,218	35.0	16,176
エチオピア		84,734	33.9	28,725
モザンビーク		23,930	9.0	2,154
マラウイ		15,381	20.0	3,076
モーリシャス		1,307	16.6	217
ウガンダ		34,509	12.1	4,176
マダガスカル		21,315	2.0	426
レユニオン		856	4.2	36
ケニア		41,610	8.0	3,329
ブルンジ		8,575	10.0	858
セイシェル		87	1.1	1
ルワンダ		10,943	13.0	1,423
ザンビア		13,475	3.5	472
ジンバブエ	12,754	1.0	128	
チャド	中部アフリカ	11,525	57.0	6,569
カメルーン		20,030	20.0	4,006
中央アフリカ		4,487	10.0	449
コンゴ共和国		4,140	2.0	83
コンゴ民主共和国		67,758	10.0	6,776
赤道ギニア		720	4.1	30
ガボン		1,534	12.0	184
西サハラ*	北アフリカ	548	100.0	548
アルジェリア		35,980	99.7	35,872
モロッコ		32,273	99.0	31,950
チュニジア		10,594	99.0	10,488
リビア		6,423	96.1	6,173
エジプト		82,537	84.4	69,661
スーダン		44,632	68.4	30,528
南アフリカ	南部アフリカ	50,460	2.5	1,262
アンゴラ		19,618	0.7	137
ボツワナ		2,031	0.3	6
スワジランド		1,203	1.0	12
モーリタニア	西アフリカ	3,542	99.1	3,510
ガンビア		1,776	90.0	1,598
セネガル		12,768	94.0	12,002
マリ		15,840	90.0	14,256
ニジェール		16,069	90.0	14,462
ギニア		10,222	85.0	8,689
シエラレオネ		5,997	65.0	3,898
ブルキナファソ		16,968	60.5	10,266
ナイジェリア		162,471	50.5	82,048
コートジボアール		20,153	28.0	5,643
ギニア・ビサオ		1,547	42.0	650
リベリア		4,129	12.2	504
トーゴ		6,155	13.7	843
ガーナ		24,966	20.1	5,018
ベニン		9,100	24.4	2,220
モンゴル	東アジア	2,800	5.0	140
中国		1,347,565	1.5	20,213
台湾****		23,138	0.6	139
日本		126,497	0.1	126
モルジブ	南部中央アジア	320	100.0	320
アフガニスタン		32,358	99.0	32,034

イラン		74,799	98.2	73,453
パキスタン		176,745	96.1	169,852
バングラデシュ		150,494	88.3	132,886
ウズベキスタン		27,760	76.2	21,153
トルクメニスタン		5,105	87.2	4,452
タジキスタン	南部中央アジア	6,977	84.0	5,861
キルギスタン		5,393	60.8	3,279
カザフスタン		16,207	42.7	6,920
インド		1,241,492	12.3	152,207
スリランカ		21,045	7.0	1,473
ネパール		30,486	4.2	1,280
インドネシア		242,326	77.0	186,591
ブルネイ		406	80.4	326
マレーシア		28,859	60.4	17,431
シンガポール		5,188	14.9	773
フィリピン	東南アジア	94,852	5.1	4,837
タイ		69,519	9.0	6,257
ミャンマー		48,337	3.0	1,450
カンボジア		14,305	2.3	329
ベトナム*		88,792	0.1	89
東チモール		1,154	1.0	12
バーレーン		1,324	82.4	1,091
イエメン		24,800	100.0	24,800
トルコ		73,640	97.5	71,799
ガザ***		1,710	99.3	1,698
イラク		32,665	96.0	31,358
サウジアラビア		28,083	94.0	26,398
ヨルダン		6,330	95.0	6,014
アラブ首長国連邦		7,891	62.0	4,892
カタール		1,870	83.0	1,552
アゼルバイジャン	西アジア	9,306	87.0	8,096
オマーン		2,846	89.0	2,533
シリア		20,766	86.0	17,859
クウェート		2,818	74.0	2,085
ヨルダン川西岸***		2,623	75.0	1,967
レバノン		4,259	56.0	2,385
キプロス*		1,117	0.6	7
イスラエル		7,562	17.0	1,286
グルジア		4,329	19.5	844
マケドニア		2,064	32.0	660
ブルガリア		7,446	12.0	894
ロシア	東ヨーロッパ	142,836	16.0	22,854
ウクライナ		45,190	1.0	452
モルドバ		3,545	5.5	195
ルーマニア		21,436	0.3	64
スウェーデン		9,441	4.0	378
イギリス	北ヨーロッパ	62,417	2.8	1,748
デンマーク		5,573	3.7	206
ノルウェー		4,925	1.8	89
フィンランド		5,385	0.7	38
アルバニア		3,216	68.0	2,187
ボスニア・ヘルツェゴビナ		3,752	40.0	1,501
セルビア・(モンテネグロ)		9,854	3.2	315
モンテネグロ*		632	17.7	112
コソボ****		1,826	90.0	1,643
ジブラルタル***	南ヨーロッパ	29	4.0	1
クロアチア		4,396	1.3	57
ギリシア		11,390	5.0	570
イタリア		60,789	2.0	1,216
スロベニア		2,035	2.4	49
マルタ		418	0.7	3

世界と日本のムスリム人口 2011年

フランス		63,126	4.3	2,714
オランダ		16,665	6.0	1,000
リヒテンシュタイン		36	4.1	1
ベルギー		10,754	4.0	430
スイス	西ヨーロッパ	7,702	4.3	331
オーストリア		8,413	4.2	353
ドイツ		82,163	4.3	3,533
ルクセンブルグ		516	2.0	10
スペイン		46,455	2.5	1,161
アメリカ合衆国	北アメリカ	313,085	1.6	5,009
カナダ		34,350	2.0	687
スリナム		529	13.5	71
ガイアナ	南アメリカ	756	7.2	54
ブラジル		196,655	0.4	787
アルゼンチン		40,765	1.5	611
トリニダード・トバゴ		1,346	7.0	94
パナマ	中米・カリブ海	3,571	0.3	11
メキシコ		114,793	0.3	344
フィジー		868	6.3	55
ニュージーランド	オセアニア	4,415	1.0	44
オーストラリア		22,606	1.7	384
合計	世界人口	6,974,036	ムスリム人口	1,548,969

資料：人口/UN., *World Population Prospects The 2010 Revision Highlights*, 2011 (web ver.)

ムスリム比率/主として、Encyclopedia Britannica, <http://www.britannica.com> (as of 2011) を利用。

CIA, *World Factbook 2012 (web ver.)* および Richard P. Weekes, *Muslim Peoples: A World Ethnographic Survey*, 2nd ed.1984 を補助的に使用した。

ムスリム人口/上記の人口 x ムスリム比率で算出した。

(注) 上記資料によってムスリム比率が入手可能な国についてムスリム人口を算出した。

なお、太字の国名は、イスラム協力機構加盟国。ただし、中央アフリカ、タイ、ロシア、ボスニア・ヘルツェゴビナは、オブザーバー。パレスチナも加盟国、上表ではガザ、ヨルダン川西岸を、太字にして表示した。

\*ムスリム比率は、*World Factbook 2012 (web ver.)* による (2012/7/7)。

\*\*ムスリム比率は、*Muslim Peoples*による。

\*\*\*人口とムスリム比率は、*World Factbook 2012 (web ver.)* による (2012/7/7)。

\*\*\*\*人口とムスリム比率は、Encyclopedia Britannica, <http://www.britannica.com> (as of 2011)

表3. 日本のムスリム人口推計 /2010 年末現在

国名	地域	在留外国人人数	外国人ムスリム人口	在留外国人 日本人の配偶者等の 日本人	在留外国人ムスリム 日本人の配偶者等の 日本人	（左の内、成人ムス リム数）	在留外国人ムスリム の日本人配偶者（ム スリム）
ソマリア	東アフリカ	3	3	0	0		0
コモロ		1	1	0	0		0
ジブチ		6	6	0	0		0
マイヨット		*	*	*	*	*	*
エリトリア		16	8	2	1	1	1
タンザニア		353	124	97	34	30	30
エチオピア		389	132	42	14	13	13
モザンビーク		28	3	2	0	0	0
マラウイ		49	10	7	1	1	1
モーリシャス		88	15	13	2	2	2
ウガンダ		509	62	124	15	13	13
マダガスカル		79	2	18	0	0	0
レユニオン		*	*	*	*	*	*
ケニア		546	44	78	6	6	6
ブルンジ		15	2	2	0	0	0
セイシェル		8	0	1	0	0	0
ルワンダ	21	3	2	0	0	0	
ザンビア	101	4	8	0	0	0	
ジンバブエ	99	1	13	0	0	0	
チャド	中部アフリカ	4	2	0	0	0	0
カメルーン		343	69	84	17	15	15
中央アフリカ		11	1	1	0	0	0
コンゴ共和国		28	1	1	0	0	0
コンゴ民主共和国		300	30	18	2	2	2
赤道ギニア		*	*	*	*	*	*
ガボン	29	3	0	0	0	0	
西サハラ	北アフリカ	*	*	*	*	*	*
アルジェリア		155	155	23	23	20	20
モロッコ		378	374	112	111	99	99
チュニジア		343	340	48	48	42	42
リビア		76	73	5	5	4	4
エジプト		1,593	1,344	86	73	65	65
スーダン		213	146	10	7	6	6
南アフリカ	南部アフリカ	570	14	67	2	1	1
アンゴラ		30	0	2	0	0	0
ボツワナ		24	0	0	0	0	0
スワジランド		2	0	0	0	0	0
モーリタニア	西アフリカ	11	11	0	0	0	0
ガンビア		26	23	4	4	3	3
セネガル		320	301	93	87	78	78
マリ		130	117	34	31	27	27
ニジェール		11	10	7	6	6	6
ギニア		262	223	85	72	64	64
シェラレオネ		54	35	7	5	4	4
ブルキナファソ		28	17	14	8	8	8
ナイジェリア		2,729	1,378	672	339	302	302
コートジボアール		101	28	16	4	4	4
ギニア・ビサオ		2	1	0	0	0	0
リベリア		30	4	8	1	1	1
トーゴ		24	3	8	1	1	1
ガーナ		1,883	378	276	55	49	49
ベニン	41	10	6	1	1	1	
モンゴル	東アジア	4,949	247	570	29	25	25
中国		687,156	10,307	53,697	805	716	716
台湾		*	*	*	*	*	*
モルジブ	南部中央アジア	42	42	16	16	14	14
アフガニスタン		1,148	1,137	35	35	31	31
イラン		4,841	4,754	504	495	440	440
パキスタン		10,299	9,897	818	786	699	699
バングラデシュ		10,175	8,985	439	388	345	345
ウズベキスタン		832	634	63	48	43	43



世界と日本のムスリム人口 2011年

トルクメニスタン		27	24	1	1	1	1			
タジキスタン		63	53	3	3	2	2			
キルギスタン	南部中央アジア	220	134	25	15	14	14			
カザフスタン		208	89	23	10	9	9	不法残留 外国人数	不法残留の外国 人ムスリム数	
インド		22,497	2,758	405	50	44	44	1,256	88	
スリランカ		9,097	637	736	52	46	46			
ネパール		17,525	736	514	22	19	19			
インドネシア	東南アジア	24,895	19,169	2,657	2,046	1,819	1,819			
ブルネイ		33	27	3	2	2	2			
マレーシア		8,364	5,052	584	353	314	314	2,237	1,351	
シンガポール		2,512	374	302	45	40	40	1,586	236	
フィリピン		210,181	10,719	41,255	2,104	1,870	1,870	6,908	352	
タイ		41,279	3,715	8,651	779	692	692	3,714	334	
ミャンマー		8,577	257	488	15	13	13			
カンボジア		2,683	62	171	4	3	3		2,362	
ベトナム		41,781	42	1,819	2	2	2			
東チモール		19	0	1	0	0	0			
バーレーン	西アジア	22	18	0	0	0	0			
イエメン		52	52	3	3	3	3			
トルコ		2,547	2,483	470	458	407	407			
ガザ**		62	62	7	7	6	6			
イラク		94	90	7	7	6	6			
サウジアラビア		668	628	7	7	6	6			
ヨルダン		183	174	20	19	17	17			
アラブ首長国連邦		64	40	1	1	1	1			
カタール		14	12	1	1	1	1			
アゼルバイジャン		55	48	4	3	3	3			
オマーン		22	20	2	2	2	2			
シリア		188	162	22	19	17	17			
クウェート		31	23	3	2	2	2			
ヨルダン川西岸**		**	**	**	**	**	**	**		
レバノン		96	54	17	10	8	8			
キプロス		34	0	4	0	0	0			
イスラエル		648	110	145	25	22	22			
グルジア	45	9	2	0	0	0				
マケドニア	東ヨーロッパ	31	10	5	2	1	1			
ブルガリア		437	52	44	5	5	5			
ロシア		7,814	1,250	1,566	251	223	223			
ウクライナ		1,507	15	428	4	4	4			
モルドバ		145	8	54	3	3	3			
ルーマニア		2,409	7	775	2	2	2			
スウェーデン	北ヨーロッパ	1,348		156						
イギリス		17,804		2,533						
デンマーク		554		88						
ノルウェー		389		46						
フィンランド		595		57						
アルバニア	南ヨーロッパ	66	45	17	12	10	10			
ボスニア・ヘルツェゴビナ		27	11	2	1	1	1			
セルビア・(モンテネグロ)		69	2	12	0	0	0			
モンテネグロ		10	2	1	0	0	0			
セルビア		88	3	9	0	0	0			
コソボ		4	4	2	2	2	2			
ジブラルタル		*	*	*	*	*	*			
クロアチア		111	1	16	0	0	0			
ギリシア		317		38						
イタリア		2,268		415						
スロベニア		61	1	11	0	0	0			
マルタ	33	0	3	0	0	0				
フランス	西ヨーロッパ	8,146		1,085						
オランダ		1,202		146						
リヒテンシュタイン		5	0	1	0	0	0			
ベルギー		692		87						
スイス		1,016		173						
オーストリア		551		72						
ドイツ		5,705		524						

ルクセンブルグ		22		3															
スペイン		1,631		247															
アメリカ合衆国	北アメリカ	51,321		9,076															
カナダ		11,893		1,839															
スリナム	南アメリカ	17	2	2	0	0	0	0	0	0	0								
ガイアナ		11	1	1	0	0	0	0	0	0	0								
ブラジル		230,552	922	30,003	120	107	107	107	107	107	107								
アルゼンチン		3,181	48	508	8	7	7	7	7	7	7								
トリニダード・トバゴ	中米・カリブ海	78	5	13	1	1	1	1	1	1	1								
パナマ		65	0	8	0	0	0	0	0	0	0								
メキシコ		1,908		430															
フィジー	オセアニア	197	12	34	2	2	2	2	2	2	2								
ニュージーランド		3,762		606															
オーストラリア		11,433		1,684															
ムスリム推計人口の合計		外国人ムスリム人口		91,744	日本人の配偶者等の在留外国人ムスリム		10,055	(左の内、成人ムスリム数)		8,939	在留外国人ムスリムの日本人配偶者(ムスリム)		8,939	不法残留の外国人ムスリム	2,632	その他の日本人ムスリム	2,250	滞日ムスリム推計人口の合計	105,565

資料：『在留外国人統計』平成23年度版

ムスリム人口比率等の算出は、表2. のとおり。

グレー部分は、OECD諸国。在日ムスリム人口は想定せず。

(注) \*は、在留外国人統計に記載がない国。

\*\*は、パレスチナとして記載があり、ガザの比率を利用して推計し、ガザの欄に記載した。

なお、太字の国名は、イスラム協力機構加盟国。詳細は、表2参照。

### 引用文献

- i サミュエル・ハンチントン『文明の衝突』(鈴木主税訳、1998年、集英社)91頁。Jean Bourgeois-Pichat, "Le nombre des homes: etat et prospective", Albert Jacquard, *Les Scientifiques Parlent*, Hachette, 1987, p.154, Tableau 7.
- ii 店田廣文「イスラーム世界の将来人口」『統計』53巻5号(2002年5月)、店田廣文「世界のムスリム人口・日本のムスリム人口」『在日ムスリムの社会経済的活動と宗教的ネットワークに関する調査研究』2007～2008年度科学研究費補助金最終報告書、早稲田大学人間科学学術院(2009年)
- iii Keiko SAKURAI, "Muslims in Contemporary Japan", *Asia Policy*, No.5, January 2008, Hiroshi KOJIMA, "Variations in Demographic Characteristics of Foreign 'Muslim' Population in Japan: A Preliminary Estimation", *The Japanese Journal of Population*, V.4-1, March 2006.
- iv RISEAP (Regional Islamic Da'wah Council of Southeast Asia and the Pacific), *MUSLIM ALMANAC. Asia Pacific*, Berita Publishing Sdn. Bhd., Kuala Lumpur, 1996.
- v *World Christian Encyclopedia*, 2<sup>nd</sup> ed. Oxford University Press, 2001.
- vi このほか、最近よく利用されているムスリム人口推計として、次の資料がある。この資料によれば、2010年のムスリム人口推計は、16億19百万人である。Pew Research Center, *The Future of the Global Muslim Population Projections for 2010-2030*, January 27, 2011 (<http://pewresearch.org/pubs/1872/muslim-population-projections-worldwide-fast-Growth>, date of reference: August 12, 2012)
- vii 拙稿「イスラーム世界の将来人口」(前掲論文)、18-20頁。
- viii 桜井啓子『日本のムスリム社会』(ちくま新書、2003年)、37頁。
- ix 片倉もところ「日本社会とイスラームをめぐって」、片倉もところ・梅村坦・清水芳見編『イスラーム世界』岩波書店、17頁。
- x 拙稿「イスラーム世界の将来人口」(前掲論文)、22-24頁。
- xi 以下の一連の報告書を参照。店田廣文・岡井宏文：

2009『日本のモスク調査2 イスラーム礼拝施設の調査記録2』、同：2010『滞日ムスリムの子ども教育調査報告書』同：2011『外国人に関する意識調査・岐阜市報告書』、同：2011『全国モスク代表者会議 3－第3回会議の記録 2011年3月6日』、店田廣文・石川基樹・岡井宏文：2012『外国人に関する意識調査・射水市報告書』。

いずれも早稲田大学人間科学学術院発行。その他、関連する報告書は、以下のホームページで参照可能。<http://imemgs.com/>

<sup>xii</sup> Pew Research Center の推計は、注 (vi) を参照。国連人口部の人口推計は、以下を参照。[http://esa.un.org/unpd/wpp/unpp/p2k0data.asp\(date of reference:Aug.12, 2012\)](http://esa.un.org/unpd/wpp/unpp/p2k0data.asp(date%20of%20reference:Aug.12,2012))